



あぐりあす

第264号

～ 掲 載 内 容 ～

ページ

1. 久慈地域の情報

○**新年度を迎えて ～所長挨拶～** . . . 1

当センター所長より、新年度の挨拶を致します。

○**令和4年度に取り組む2つの実証** . . . 2

- 1 低圧ミストを活用したほうれんそうの高温対策実証
- 2 豚ふんペレットを利用した水稻のコスト低減実証

○**令和4年度久慈普及センター活動体制** . . . 4

今年度の当センター活動体制を紹介します。

○**令和4年度の転入者(5名)の自己紹介** . . . 5

今年度から当センターに赴任した5名を紹介します。

○**普及現地情報** . . . 6

- ・いよいよ園児が収穫！宇宙から帰ってきた”寒じめほうれんそう
- ・品揃え強化！～野菜栽培研修会を開催～
- ・雨よけほうれんそう出荷販売額コンクールの表彰を行いました

2. お知らせ

○**山火事防止 -山火事を 防ぐあなたの 心がけ-** . . . 9

ひとたび山火事が発生すると、長い時間をかけて育った森林が一瞬で失われます。一人ひとりの山火事防止意識を高めていきましょう。

○**春の農作業安全月間** . . . 11

農作業死亡事故者数は年間 300 人前後で推移しています。
普段の作業の安全性を今一度見直しましょう！

新年度を迎えて ～所長挨拶～

いよいよ春を迎え、農家のみなさんは農作業が本格化して、お忙しいことと思います。

昨年の管内の農作物の生育は、りんごの凍霜害や大雨による被害等が一部の農家で発生したものの、的確な栽培管理等によりおおむね順調に経過、本年は災害がなく豊作となることを心から祈念しています。

本年度の普及センターの体制は、昨年と同様に、地域指導課、産地育成課、経営指導課の3課、18人となっており、各課がしっかりと連携して“農村の活性化”から“農業者への技術的支援や経営指導”などに取り組んでいきます。

今年の人事異動では5名が離任して、高橋正樹 地域指導課長、東海林豊 主査農業普及員、高木泰昌 主任農業普及員、戸田沢ひかる 農業普及員、小原聡大 技師が赴任しました。それぞれが持つ技術や経験をうまく活かしながら、普及活動の更なる強化を図ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、最近の動きを見ると、久慈地域では三陸沿岸道路の全面開通による物流の効率化、新たな広域道の駅と産直が新設予定、国では国産菌床しいたけの原産地表示の見直しを開始するなど、明るい動きが見えています。

その一方で、新型コロナウイルス感染症は第6波まで流行、これらの影響により“米などの農畜産物の価格低迷”や“物流の停滞などによる肥料など農業資材の高騰”、“燃油の高騰”など、農業をめぐる情勢は厳しいものとなっています。

このような中、普及センターの果たす役割は益々大きくなっていると感じており、関係機関・団体とともに“単収向上や規模拡大などによる販売額の増加”、“作業・労務管理および生産コスト低減技術の導入による効率化”、“農畜産物の流通販売対策”、“産直運営体制の強化”など、多方面から農家の所得向上に向けた取組の強化を進めていきます。

例えば、①単収向上の取組としては“ミスト装置導入による夏期のほうれんそう栽培の安定化技術の実証と普及”(R3～5年)、②生産コスト低減の取組としては“安価なペレット堆肥を利用した水稻のコスト低減の実証と普及”(R4～5年)、③経営の効率化や規模拡大の取組としては“専門家と普及員による経営・労務管理指導”や“規模拡大計画の作成指導”などを行うこととしておりますので、詳細をお知りになりたい方はお問い合わせください。(①と②の実証については、今回号に概要を掲載しています。)

最後になりますが、当センターの職員は若手が多いことから、皆様へ指導する一方で、多くのことを教わっているものと、感謝しております。若手職員は、知識のみならず、様々な経験に裏付けられ自信と技能をつけていくものと考えていますので、皆様から御支援・御指導をいただき育て上げていただければ幸いです。

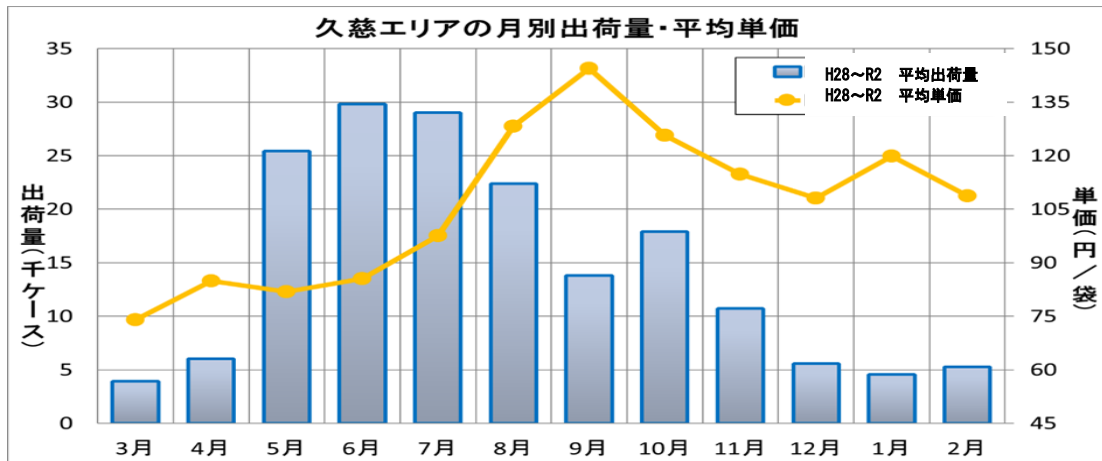


豚ふんペレットを散布中

令和4年度に取り組む2つの実証

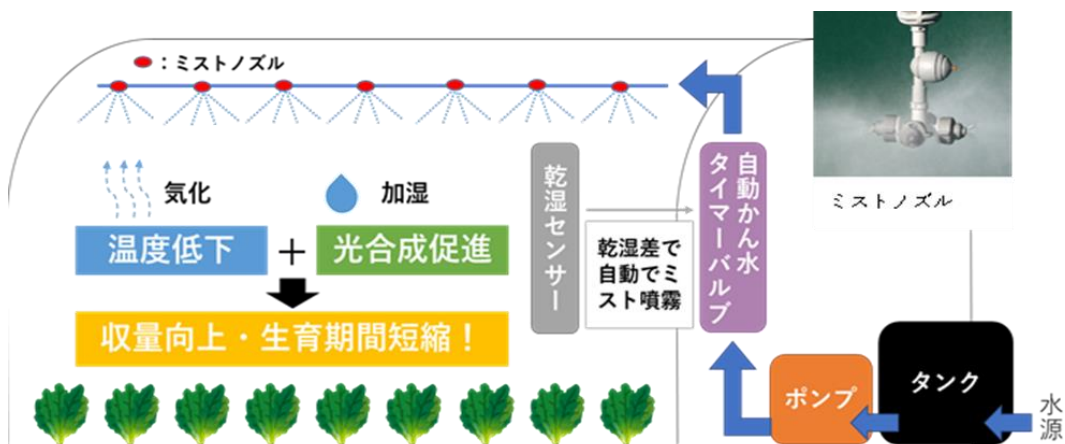
1 低圧ミストを活用したほうれんそうの高温対策実証

久慈地域は、県内一のほうれんそう産地ですが、ここ数年生産額は大きく減少しています。生産者の減少による出荷量の減少が大きな要因ではありますが、高単価な夏期の出荷量が少ないことも大きな要因です。



これまでも高温対策として、夏期に適した品種の作付や直射日光を遮る遮光幕の使用、萎凋病などの病害対策としての土壌消毒などを指導してきました。

そして今回、新たな高温対策技術として、低圧ミストを活用した加湿制御技術の導入実証を令和3年度から実施しています。その技術は、ビニールハウス内に設置したノズルからミスト噴霧し、「温度低下」させることと加湿により「光合成を促進」させることによって、生育停滞させずに収量向上をはかるものです。



久慈市山形町と普代村の2カ所で実証しています。実証期間内（6～9月）に現地見学会を開催しますので、その際にはぜひ現地に足を運んで、効果を確認してください。

担当 産地育成課
(深澤、菅野)

2 豚ふんペレットを利用した水稻のコスト低減実証

久慈地域は、鶏、豚、牛といった畜産業の盛んな地域です。地域資源として堆肥が豊富に存在しています。これらを使ったコスト低減には特別な散布機械が必要であり、散布の手間もあり、利用は限られていました。

しかし、管内の養豚の農業法人（野田村、株のだファーム）で豚ふんペレットの製造が始まり、これまでの堆肥よりも均いも少なく、ブロードキャスタなどによる散布もしやすいものとなっています。

また米価の下落と肥料の高騰により、コスト低減がより必要になってきました。豚ふんペレットは化成肥料よりも安価なので、豚ふんペレットが化成肥料の代替として使用できれば、水稻のコスト低減が期待できます。

そこで令和4年度から、豚ふんペレットの施用によるコスト低減と地力向上をねらいとして、（農）宇部川ファームにて実証を始めます。

実証内容は、現在使用している化成肥料を豚ふんペレットにどのくらい置き換えることができるか、ということです。調査項目としては、水稻栽培に適した豚ふんペレットの施用量はどのくらいか、豚ふんペレット施用の作業量に伴う作業量はどうか、を調査します。

豚ふんペレットの施用量については、10aあたり200kgと400kgを春散布して、化成肥料の施用量を加減して、比較します。

豚ふんペレット施用の作業量については、作業数としては慣行と比べて減少する設定ですが、実際の作業量はどうか、を調査します。

この実証により、豚ふんペレットと化成肥料を使用した施肥が可能となれば、現在の肥料費（約9,500円/10a）を3割以上安く抑えることができます。実証結果に期待してください。

表 実証区と慣行区の作業の比較

	秋作業時	春作業時		田植時	備考
慣行区	①石灰窒素散布 ②稲わら鍬込み		③耕起 ④代かき	⑤施肥（側条）	5作業
実証区	(削減)	①豚ふんペレット散布	②耕起 ③代かき	(削減)	3作業 (2作業削減)
	(削減)	①豚ふんペレット散布	②耕起 ③代かき	④施肥（側条）	4作業 (1作業削減)

担当 産地育成課
(中西、小原)



久慈農業改良普及センター活動体制



【 職員分担 】 ※(新)：転入者（次ページに紹介があります）

<p>マネジメント グループ</p>	 所長 中村 英明	 技術主幹兼 経営指導課長 村上 和史	 技術主幹兼 産地育成課長 中西 商量	 (新)地域指導課長 高橋 正樹	
	<p>チーム長</p>	<p>メンバー</p>			
<p>経営指導課</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模経営体等の経営発展に向けた個別経営改善支援 酪農及び肉用牛の生産性向上支援 	 上席農業普及員 輪達 公重 (菌床しいたけ経営体育成)	 (新)主任農業普及員 高木 泰昌 (肉用牛経営体育成)	 技師 高橋 優希 (酪農経営体育成)	 (新)農業普及員 戸田沢 ひかる (園芸経営体育成)	 農業普及員 吉田 優里 (水田作経営体育成)
<p>産地育成課</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地の担い手や組織の育成支援 生産性向上技術の確立及び普及 高位安定生産技術導入による単収向上支援 	 上席農業普及員 深澤 明子 (ほうれんそう、ピーマン、GAP)	 農業普及員 菅野 千聖 (やまぶどう、花き、ほうれんそう)	 技師 川嶋 美紀 (きゅうり、ブロッコリー、ほうれんそう)	 技師 佐々木 美苗 (アスパラガス、ほうれんそう)	 (新)技師 小原 聡大 (水稲、農業適正指導)
<p>地域指導課</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内市町村との連携 新規就農者の確保及び育成 産地直売所の取組支援 生活研究グループや食の匠の活動支援 	 (新)主査農業普及員 東海林 豊 (地域農業マスタープラン)	 主任農業普及員 藤尾 あゆみ (農業農村指導士、女性組織、青年農業者)	 農業普及員 小原 幸 (産直、食文化、6次産業化)	 農業普及員 佐藤 陽菜 (新規就農)	



今年度の転入者（5名）の自己紹介



- ① 名前
- ② 出身地
- ③ 担当業務
- ④ 前任地
- ⑤ ひとこと
お願いします！



- ① 高橋 正樹（たかはし まさき）
- ② 八幡平市（旧西根町）
- ③ 地域指導課長
- ④ 盛岡広域振興局農政部
- ⑤ 初めての久慈管内勤務です（沿岸・県北地域での勤務も初です）。

さらに、初めての単身赴任です。

体調管理を万全にして、久慈管内の農業振興のため頑張ります！どうぞよろしく
お願いいたします。<(_ _)>

- ① 東海林 豊（しょうじ ゆたか）
- ② 一関市
- ③ マスタープラン実践支援など
- ④ 中部農業改良普及センター
西和賀普及サブセンター
- ⑤ 20年ぶりに赴任しました。挨拶回りで懐かしい方々にお会いし、改めて多くの方々にお世話になっていたと気付かされました。今度は家族で引っ越してきたので家族共々お世話になります。何卒よろしく
お願いいたします。

- ① 高木 泰昌（たかぎ やすあき）
- ② 宮城県
- ③ 肉用牛・公共牧場の運営支援
- ④ 県庁流通課
- ⑤ 初めまして高木です。

前任地では県産食材、特に『いわて短角牛』の販路拡大に注力して来ました。当普及センターでは、関係機関の皆様と協力しながら当地域の農業生産の盛り上げに一役買えるよう、及ばずながら頑張ります！

- ① 戸田沢 ひかる（とださわ ひかる）
- ② 軽米町
- ③ 園芸経営体育成
- ④ 中部農業改良普及センター
- ⑤ 採用されてから今まで果樹振興に取り組んできましたが、久慈では心機一転、新たな業務に携わることになりました。
早く仕事を覚えてみなさまのお役に立てるよう頑張ります。よろしく
お願いします。

- ① 小原 聡大（おばら そうた）
- ② 北上市
- ③ 水稻・農薬適正指導
- ④ 新採用
- ⑤ 勤務に一人暮らしと初めてのことだらけです。主に水稻を担当します。皆さまにご迷惑をおかけすると思いますが、農業について学び、少しでも地域に貢献できるよう精一杯取り組みます。よろしく
お願いします。

人事異動に伴い、久慈農業改良普及センターから転出した職員及び転出先は下記のとおりです。

- ▶ 池野 圭祐 八幡平農業改良普及センター 岩手町駐在
- ▶ 高畑 博志 八幡平農業改良普及センター 岩手町駐在
- ▶ 菊地 雄大 県庁流通課
- ▶ 鍬形 幸平 岩手県農業研究センター
- ▶ 及川 優介 岩手県農業研究センター

いよいよ園児が収穫！ 宇宙から帰ってきた“寒じめほうれんそう”

普代はまゆりこども園の年長組園児6人が、国際宇宙ステーションから地球に戻った種から育てた寒じめほうれんそうを1月19日に収穫しました。

園児は令和3年10月に種まきを行った農園を再度訪問しました。同園の代表が「葉をめくり根元に鎌を入れて、根の部分を切って収穫してください」と説明すると、園児たちは鎌を使って上手に刈り取り、青々と立派に育った約100株の寒じめほうれんそうをあっという間に収穫しました。

園児たちは、「根っこが太くて、刈るのが難しかったけど、うまく収穫できた。」「大きく育った寒じめほうれんそうがたくさんとれて嬉しい。早く食べたい。」と笑顔を見せました。

このような農業体験を通じて、農作業の楽しさを次世代に伝えていく取組をこれからも支援していきます。



集中して収穫作業をしている園児の様子。鎌を使って上手に収穫できました。

普及現地情報
令和4年1月26日
久慈農業改良普及センター
記述者 小原幸

品揃え強化！～野菜栽培研修会を開催～

産直の魅力UPと品揃え強化に向けて、久慈地域産直連絡協議会では1月20日に「野菜栽培研修会」を開催し、4産直から組合員21名が参加しました。

今年度3回目の開催となる今回の研修は、久慈農業改良普及センターの職員が野菜(スナップエンドウ、ソラマメ、落花生、アスパラガス)と花き(りんどう、小ぎく、トルコギキョウ)の栽の基礎について説明しました。

参加者は「落花生や2年目のアスパラガスはマルチを敷いた方がよいのか？」など普段疑問に思っていることを積極的に質問していました。

また、「アスパラガスとソラマメにチャレンジしたい」「花き栽培はしたことがなかったが視野に入れていきたい」などの前向きな意見もありました。

久慈農業改良普及センターでは、今後も産直連絡協議会と連携し、産直魅力UPが図られるよう支援をしていきます。

今回研修した品目が、来年度から産直の店先を新たに販わせていることを期待します！

ぜひ久慈地域の産直を訪れてみてください！



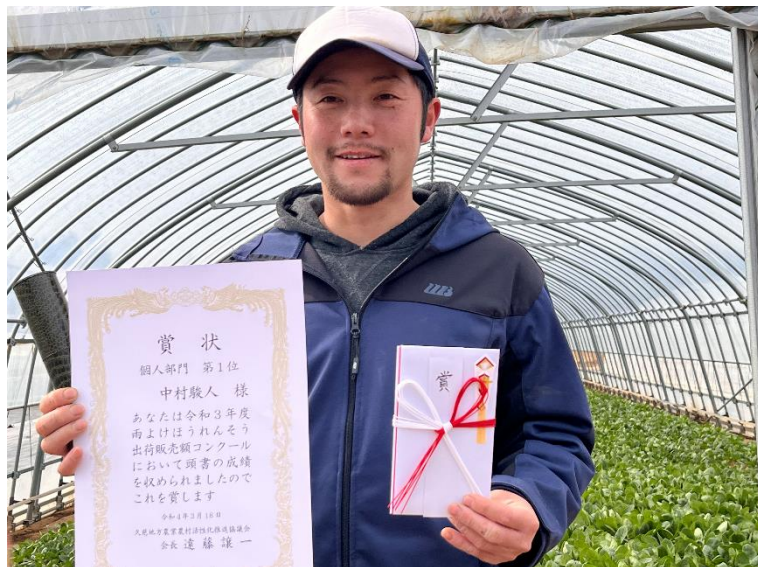
写真でスナップエンドウの苗を皆で確認！

雨よけほうれんそう出荷販売額コンクールの 表彰を行いました

ほうれんそうの生産意欲の向上のため、久慈地方農業農村活性化推進協議会が主催したコンクールにおいて、個人7名とJA野菜部会1支部を表彰しました。

実施した2つのコンクールは「雨よけほうれんそう出荷販売額コンクール」と「寒じめほうれんそう販売数量ダービー」です。4月から12月にかけて出荷される雨よけほうれんそうと、11月下旬から2月に出荷される寒じめほうれんそうのそれぞれにコンクールを行いました。3月上旬に表彰式を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて集合開催が中止されたため、3月18日にやむなく個別訪問としました。

雨よけほうれんそうの個人部門で1位に輝いた中村駿人さんは、「播種から収穫までのサイクル短くして数多く出荷できるよう、病害虫を発生させないように栽培管理した結果が認められた」と喜んでいました。普及センターではこのような優良事例を紹介しつつ、今後も生産者への栽培指導を行っていきます。



雨よけほうれんそう出荷販売額コンクール個人部門1位に輝き、笑顔を見せる中村駿人さん。

火入れと野焼きに注意!!

— 山火事を防ぐあなたの心がけ —

- 令和3年は26件の山火事が発生し、約7割が3～5月に集中しています。
- 例年、山火事の発生原因でたき火・野焼きによるものが約7割を占めています。
- 大切な森林を山火事から守るために、野外での火の取り扱いには十分注意しましょう。

【火入れ】

森林又はその周囲1kmの範囲内で立木竹、雑草、堆積物等を面的に焼却する行為で、**市町村長の許可が必要!**

火入れ許可の対象は、次の目的に限られます。

- ◆造林のための地ごしらえ・開墾準備
- ◆害虫駆除・焼畑・牧草の改良

(森林法第21条)

【野焼き】

枯れ草や廃棄物を焼却する行為で、**原則禁止!** (廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条の2)

例外として

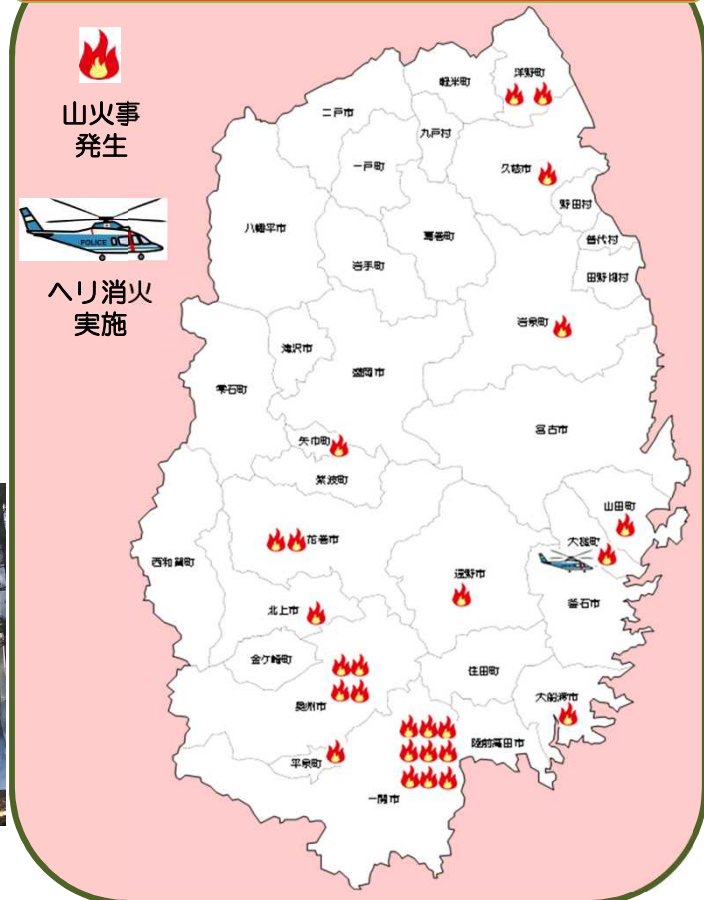
- ◆農業、林業又は漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる焼却
- ◆たき火、その他日常生活を営む上で通常行われる焼却で軽微なもの

→市町村条例により、行為前の消防署への届け出が必要



山火事の発生現場

令和3年の岩手県内の山火事発生状況





大切な緑を火災から
守りましょう。

令和4年版 山火事防止普及啓発マップ

岩手県山火事防止対策推進協議会

- ひとたび山火事が発生すると、長い時間をかけて育った森林が一瞬で失われます。
- 山火事の多くは、ちょっとした火の取扱いの不注意が原因で発生しています。
- このマップを参考に、少しでも山火事の発生を減らすよう、一人ひとりの山火事防止意識を高めていきましょう。

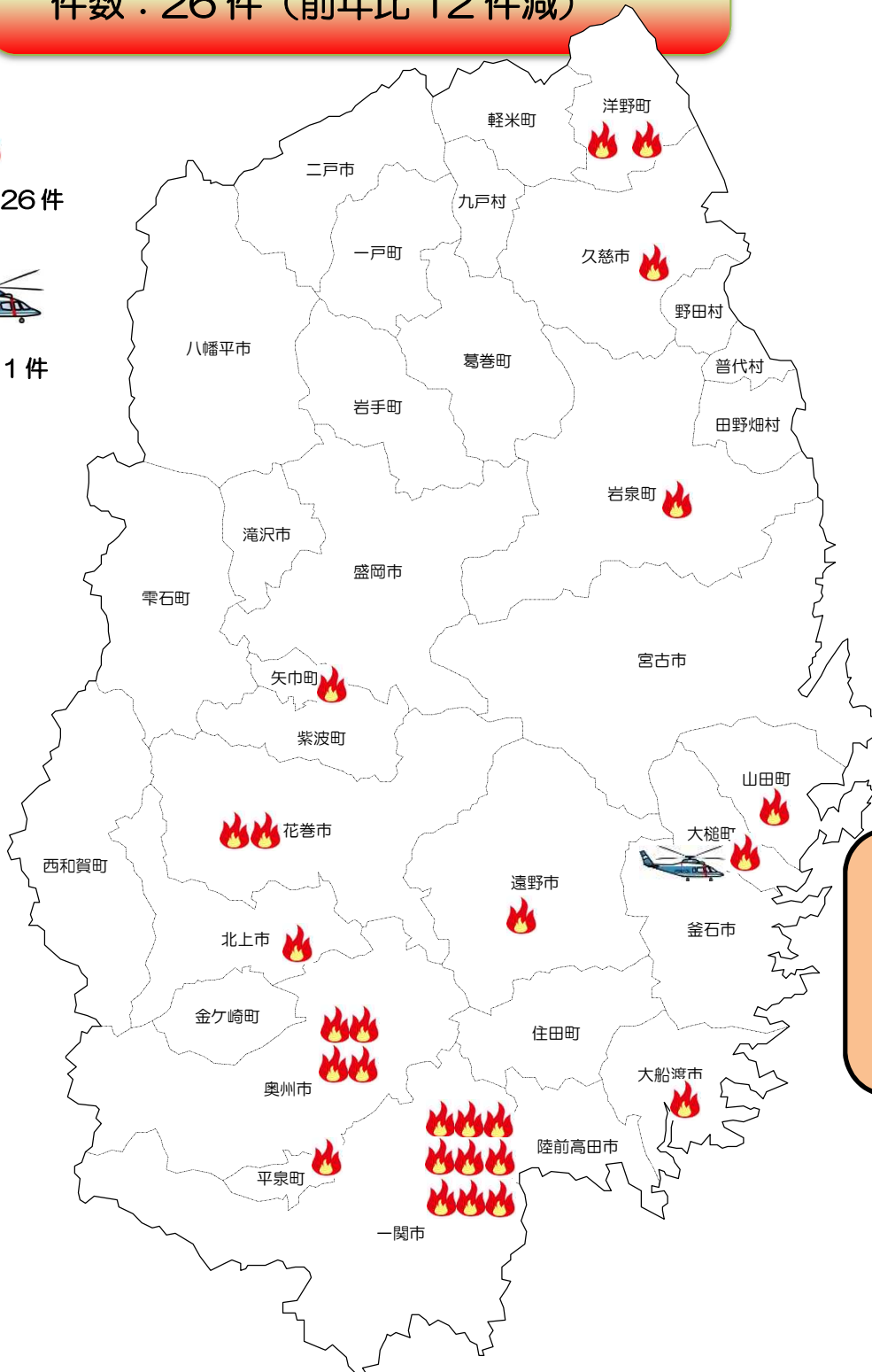
◎令和3年に山火事が発生した市町村

件数：26件（前年比12件減）

林野火災 26件



ヘリ消火 1件



◎令和3年まで、3年以上連続して
山火事がなかった市町村

リスの数は、山火事が発生して
いない年数だよ。

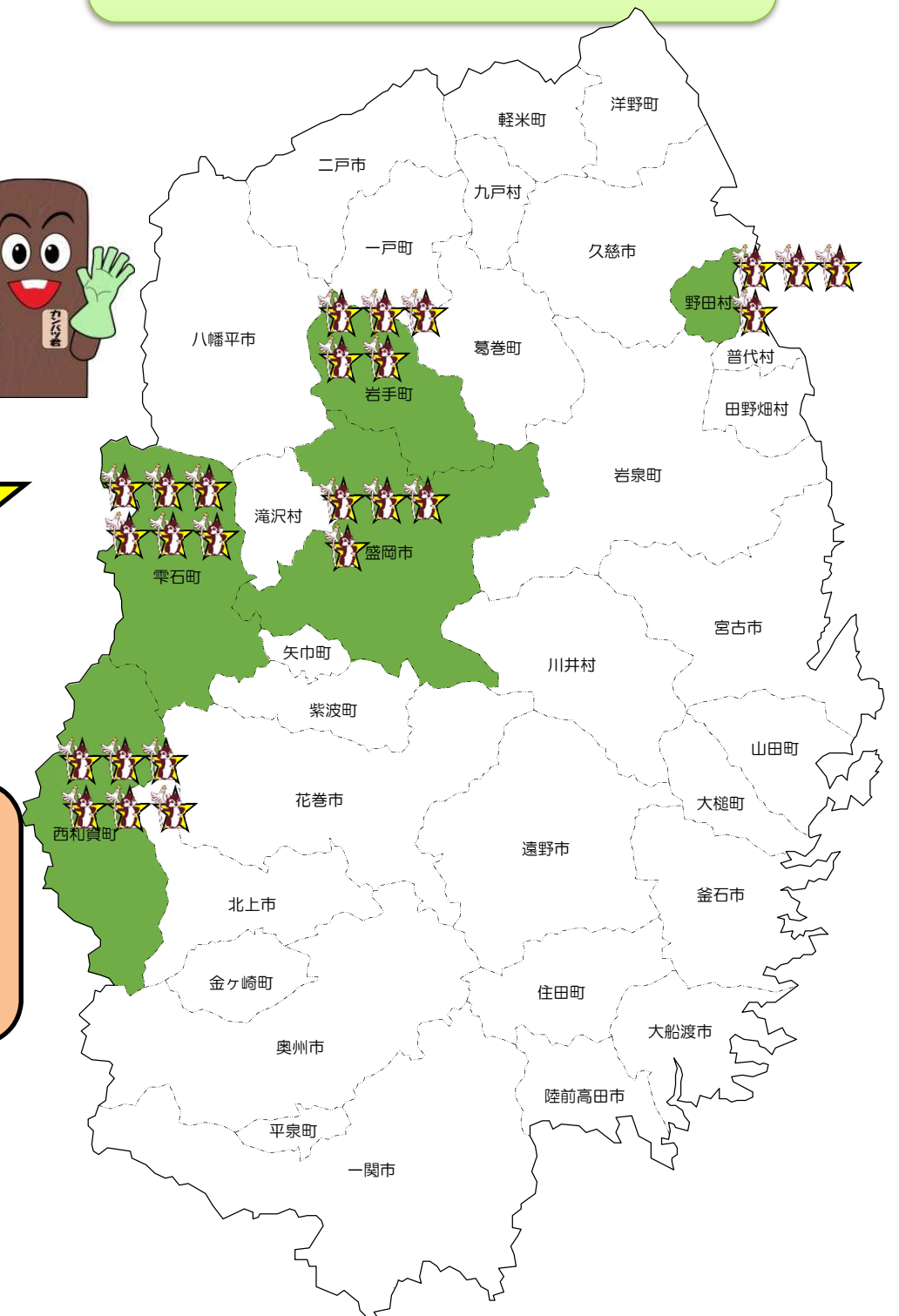


ボクの数が増えるよう、
山火事防止3原則を守ろう



山火事防止3原則

- ① 強風、乾燥時は野外で火を使わない
- ② 森林の近くでたき火、野焼きをしない
- ③ たばこの吸殻は投げ捨てない



春の農作業安全月間

(4月15日～6月15日)

農作業 ゆとりと声かけ 二刀流

**トラクターに安全フレーム装着！
運転者はシートベルト着用！**

ヘルメットの装着や
低速車マークの活用を
徹底し、日々の作業の
習慣にしましょう！



**水分、塩分補給など
熱中症対策を十分に！**

暑さに慣れていない
時期や高温多湿な
ビニールハウス内など
での農作業時は、対策を
心がけましょう！



**強風・乾燥時は野焼きをしない！
作業は、準備と注意をしっかり！**

野焼きを行う際には、周囲の
環境を確認しましょう。また、
白煙の発生等で、周囲に
迷惑がかからないよう配慮をしましょう。



**作業場所と帰宅時刻を知らせよう！
携帯電話を携帯しよう！**

みんなで事故に気をつけて
いくために、家族など周りの
人に作業予定を知らせ、
連絡手段を絶やさないう
にしましょう。



～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【3月分の掲載記事】

○産地紹介:《八幡平》ルポルタージュ「八幡平バイオレット」生産拡大に向けた取り組み

○人物紹介:《二戸》人物紹介「100、200年後も続く農業を目指して 平裕さん」

○『普及活動年報』県内各地域の普及センターの取組を紹介します。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/index.html>



久慈農業改良普及センターfacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や、HOT な情報をお届けします。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>

